

|         |          |         |               |
|---------|----------|---------|---------------|
| 開講期間    | 配当年      | 単位数     | 科目必選区分        |
| 半期      | 1年       | 2       | 選択            |
| 担当教員    |          |         |               |
| 豊田 正明   |          |         |               |
| C (商学部) | L (基礎科目) | LW (法律) | 101 (基礎・入門科目) |

|             |   |
|-------------|---|
| 授業のねらい (概要) | 社会を形成する社会制度の一つとしての法制度を、根本法規たる日本国憲法を中心に、法律、規範、契約などの目的と意義や役割について講義する。さらに、刑法、民法、裁判員制度や生命医療などの身近な法律問題を取り上げ、具体的に法律社会への興味と関心を喚起する。<br>講義中質問を投げかけることがあると思うが、その際には自分だったらどうするかを考え、シミュレーションして欲しい。   |
| 授業計画        | <p>第1回 【遠隔】(前期のみ)法とは何か<br/>法規範の意義と役割、現行の法体系、憲法の最高法規、公法・私法の区別について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：わからない用語等は調べ、プリントを読んでおく。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第2回 【遠隔】(前期のみ)憲法とその歴史<br/>憲法とは、憲法史、日本国憲法の歴史とその基本原理について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第3回 【遠隔】(前期のみ)国民主権と象徴天皇制<br/>人権思想、基本的人権、自由権と社会権について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第4回 【遠隔】(前期のみ)平和主義<br/>平和主義とは、集団的自衛権について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第5回 【課題】(前期のみ)包括的人権、精神的自由権<br/>包括的基本権、生命・自由・幸福追求権、法の下での平等について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第6回 経済的自由権、刑事手続と人身の自由<br/>経済的自由権、身体的自由権について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第7回 社会権<br/>生存権、教育権、勤労権、労働基本権、労働三法について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第8回 【課題】(前期のみ)統治機構、憲法改正<br/>国会、内閣、裁判所、三権分立、憲法改正手続、憲法改正議論の現状と課題について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第9回 刑事法<br/>刑事法規とは、刑法、特別刑法について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第10回 刑事手続、刑事裁判<br/>刑事手続、裁判員制度について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第11回 民事法、民事手続<br/>民事法規とは、民法、民事訴訟、ADR(裁判外紛争処理機関)について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。</p> |

|                         |  |
|-------------------------|--|
|                         | <p>る。(120)</p> <p>第12回 経済社会と法<br/>経済社会における法の役割、取締法規とはについて理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第13回 【課題】(前期のみ)消費者と法<br/>消費者取引と法規制、インターネット取引について理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第14回 法的思考(リーガルマインド)<br/>法的思考とは何か、具体的な事件を題材として理解し、具体的な問題についてより深く理解する。<br/>予習(時間)：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートを読み返し、講義で聴いたことを再確認して知識を定着させる。(120)</p> <p>第15回 まとめ<br/>これまでのまとめ、重要な個所の復習と知識の再確認をおこなう。<br/>予習(時間)：これまでの内容を一通り読み返し、わからない箇所等について確認しておく。(120)<br/>復習(時間)：プリントやノートの内容についてわからない箇所がないようにする。(120)</p> |
| 授業を通して身に付けることができる能力(DP) | <p>情報の収集、分析を行い進んで課題解決に臨む姿勢、専門的分野の学びを実務や社会で応用できる能力、課題解決力、情報活用能力を身につけることができます。</p> <p>【身に付くスキル】<br/>課題解決力・情報活用能力</p>   |
| 到達目標                    | <p>法とは何かについての基礎知識と日本国憲法の全体像を理解する。<br/>法制度全体についての理解を深める。<br/>法の意義や役割について理解するとともに、様々な事象を法律的に考察し、適切に判断して、行動する能力と態度を涵養する。</p>  |
| 課題や小テスト等のフィードバックの方法     | 小テストを2回程度行い、その内容を解説する。   |
| 履修上の注意                  | わからない用語等は事前に調べておくこと。   |
| 成績評価の方法・基準              | <p>授業中2回程度確認小テストを行う(各10%)、定期試験(80%)</p> <p>「期末試験」は、コロナウイルス感染状況並びに社会状況等の諸般の事情を考慮し、「最終レポート」にて代替することがある。その場合には、melly及び授業内において実施方法の詳細と評価基準を告知する。(前期のみ)</p>   |
| 教科書                     |  |
| 参考書・教材                  | <p>【参考書】<br/>『法律の読み方・学び方』 著者名：道野真弘 出版社：実務教育出版 発行年：2011年<br/>『法律学習マニュアル/第3版』 著者名：弥永真生 出版社：有斐閣 発行年：2009年</p> <p>【教材】プリントを配布する。</p>   |
| 備考                      | <p>講義科目/実務家教員による授業</p> <p>2020年度は、5、8、13回を課題研究として学修する。(前期のみ)</p> <p>第5回 「包括的基本権、精神的自由権」につき、包括的基本権について調べ、各人の見解をレポートとして作成する。レポートの指示・確認等を6、7回の対面授業やmellyの指示で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第8回 「統治機構、憲法改正」につき、国会、内閣、裁判所、三権分立、憲法改正手続、憲法改正議論の現状と課題について調べ、それぞれ大まかにまとめ、レポートを作成する。レポートの指示・確認等を9、10回の対面授業やmellyの指示で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第13回 「消費者と法」につき、消費者取引と法規制並びにインターネット取引について調べ、それぞれを大まかにまとめ、レポートを作成する。レポートの指示・確認等を12、14回の対面授業やmellyの指示で行う。全体で330分の学修を想定している。</p>   |
| 教員との連絡方法                | メール(講義の初めに周知する)  |